

中村清次先生と行くシルクロード2023

琵琶湖畔に十一面観音像を求めて

～平等院と湖南の古寺を巡る 南近江2日間～



平等院 鳳凰堂(世界遺産)

同行講師の「旅のお勧め」



私たちが最も愛する仏像は？……ある調査によると、圧倒的に観音菩薩像で、うち半分以上が十一面観音だったと言います。なぜでしょうか。その由縁は、昭和35年(1965年)に小説「敦煌」で、シルクロード・ブームを巻き起した作家・井上靖の作品「星と祭」でした。昭和46年から47年にかけて、朝日新聞に連載されたこの作品のテーマは、琵琶湖で愛する娘を失った父親が、やるせない想いを胸にいくたびも訪れた近江のくに(現・琵琶湖)への巡礼でした。近江一帯にひろがる、おびたしい数の十一面観音に出会いながら、やがて、湖面に次々と立ちあがるように見えた、十一面観音の光景に救われる……と言うストーリーでした。連載が終わると、日本中に十一面観音ブームが起こり、多くの人々が、この十一面観音の故郷・近江へと向ったと言います。この十一面の顔を持つ観音とは、一体、いかなるほどけさまなのでしょうか。なぜ近江のくにに、これほど多くの十一面観音が造られたのでしょうか。日本の歴史に語り継がれるほどの大きな戦いを、なんども経験した近江のくにの仏像たちは、なぜ破壊を免れてきたのでしょうか。近江は、今も、謎多きくにです。今回の旅は、この謎多きくに近江と、十一面観音との出会いを求めて、琵琶湖の下流・宇治川のほとりに輝く国宝・平等院から、近江へと遊んでみたいと思います。

中村清次

【講師 中村清次先生プロフィール】

東京大学文学部西洋史学科卒業後、1962年NHK入局。編成部、番組制作局などを歴任し、1979～81年に「NHK特集-シルクロード」取材班団長を務める。当時の番組は大きな反響を呼び、芸術祭優秀賞、菊池寛賞など数々の賞を受賞した。2010年春まで福山大学客員教授、聖心女子大学非常勤講師を勤め、現在はNHK文化センター(シルクロード)担当講師として活躍中。1962年東京大学文学部卒業。NHK入社後、編成、番組制作を経て1978～81年の「NHK特集-シルクロード」取材班団長を務める。

●主な著作
「シルクロード流沙に消えた西域三十六か国」新潮社／「シルクロード10の謎」NHK出版

	日付	スケジュール
1	10/23 (月)	JR京都駅(12:35集合) ----- 平等院(見学) * 内部拝観・ミュージアム鳳凰館 ----- 石山寺(参拝 見学) * 本堂特別内陣 ----- 柿林`ストン`ラザ草津(泊)(17:00頃) * ホテルにて夕食会
2	10/24 (火)	ホテル(09:00発) ----- 三井寺(園城寺)(参拝 見学) ----- 近江神宮(参拝 見学) ----- 西教寺(精進料理の昼食 参拝 見学) ----- 盛安寺(拝観 見学) * 特別拝観 十一面観音菩薩立像 ----- JR京都駅(16:50頃解散予定)

※上記日程はコロナ状況・現地事情・交通事情等により変更になる場合もございます。(見学場所など)

募集要項

■旅行期間:2023年10月23日(月)～10月24日(火) 1泊2日

■ご旅行代金: 2名1部屋利用:69,000円/1名1部屋利用:75,000円

*上記料金は現地費用となり集合解散場所までの費用(自宅→JR京都駅→自宅)までの移動交通費は含まれておりません。

■旅行代金に含まれるもの:ホテル1泊・夕食1回・朝食1回・昼食1回・拝観料・専用バス代(2日間)・講師費用(旅行代・食事代)・添乗員費用

■募集人数:25名(最少催行人数15名)

■募集締切日:2023年9月29日(金) * 定員になり次第締め切りとなります。

■添乗員:1名同行致します。(集合地から解散場所まで)

■宿泊先:ホテルポストンプラザ草津

■利用予定バス会社:エムケイ観光バス(貸し切り専用バス)

■集合解散場所:JR京都駅八条口集合(12:30) / JR京都駅八条口解散(16:50頃)

■企画監修:NHK文化センター(青山教室 千葉教室 町田教室 さいたま教室 仙台教室)

*最小催行人数に達し催行決定となりましたらお客様にご連絡させていただきます。ツアー催行決定後にお客様ご自身にて集合解散場所までの交通手配(新幹線等)をお願いいたします。

想定列車 往路:新幹線のぞみ23号 博多行き JR東京駅10:12発→品川10:19→横浜10:31→名古屋11:49→JR京都駅12:23着

(参考) 復路:新幹線のぞみ38号 東京行き JR京都駅17:21発→名古屋17:57→新横浜19:15→品川19:26→JR東京駅19:33着

その他JR・新幹線スケジュール等不明な点などございましたら、どうぞお気軽にお問合せください。手配手数料(¥1,100)がかかりますが弊社にてお手配することも可能です。

平等院

世界遺産



阿彌陀如来坐像

1052年、藤原頼通によって京都府宇治市に開かれた寺院で、鳳凰を屋上に戴く鳳凰堂(国宝)には仏師・定朝作の阿彌陀如来像、周りには52体の雲中供養菩薩等があります。鳳凰堂は1994年(平成6年)に登録されたユネスコ世界遺産「古都京都の文化財」の構成物件の一つでもある。今回は内部拝観にもご案内する予定です。

石山寺



大日如来坐像

西国三十三所観音霊場の第十三番札所で、真言宗の大本山にあたるお寺です。奈良時代創建で、安産・福徳・厄除・縁結のご利益があり、現在も多くの方の信仰を集めています。かの紫式部を始め、古来より多くの文学者が訪れたことから「文学の寺」と呼ばれることも。また、境内に四季折々の花が咲き誇ることから、「花の寺」としても知られています。

三井寺(園城寺)



十一面観音菩薩像

天台宗門宗の総本山。大友皇子の子、与多王が創建し、のち866年に円珍が天台別院として再興したのが始まり。同寺の湧水を天智・天武・持統の三天皇の産湯としたことから御井寺(みのいでら)と呼ばれ、また園城寺の名は、与多王が父の荘園城色(領地)を献上して寺院としたこと由来する。十一面観音立像は平安時代の作で重要文化財。80cm余と小さいながら、精緻な彫りの素晴らしい観音像です。

近江神宮



天智天皇の古都・近江大津宮の跡地に創立された神社です。自然豊かな境内、色鮮やかな楼門、近江造り・昭和造りの社殿など、見どころが多数あります。「百人一首かるたの祖」と言われる天智天皇をお祀りしていることから、「かるたの殿堂」と呼ばれることもあります。近江国の発展は、大津宮に都をおかれたことから始まったとして、古来より近江の人々から篤い崇敬を受けています。

西教寺

精進料理体験



阿彌陀如来坐像

琵琶湖畔坂本にあり天台真盛宗の総本山。聖徳太子の創建と伝えられ、のち1486年に延暦寺の僧・真盛が復興した。本堂は1739年の建築で、本尊阿彌陀如来坐像(平安時代)とともに重要文化財。また同じく重要文化財の客殿には狩野派のみごとな障壁画が描かれている。境内には明智光秀の墓などもあります。今回は精進料理の昼食も召し上がっていただく予定です。

盛安寺

特別公開(十一面観音菩薩像)

この時期だけの特別開扉となります。



十一面観音菩薩像

琵琶湖畔坂本にあり天台真盛宗。室町時代の文明年間(1469～87)、越前の大名家・朝倉氏の家臣・杉若盛安の再興という。客殿(重要文化財)は伏見城の遺材という。客殿襖絵や枯山水の庭も見逃せない。井上靖の小説『星と祭り』に登場する十一面観音立像は平安時代の作で重要文化財。